

2024年7月29日

課題名： 甲状腺半切術における頸部ドレーン排液量と
抜去時期の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、甲状腺半切術における頸部ドレーン排液量と抜去時期の関連について調べています。本研究では、上記を明らかにすることを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2023年4月～2024年3月に甲状腺半切除術を受けられた方

◆研究に使用される情報・試料◆

入院日年齢、性別、入院日、退院日、悪性の場合 TNM 病期、手術開始時間、手術終了時間
身長、体重、内服歴、既往歴

◆情報の研究利用開始日◆

2024年 10月 15日 以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報利用します。

◆研究代表者◆

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 耳鼻咽喉科 玉木 久信

◆共同研究機関・研究責任者◆

京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 岸本 曜

兵庫県立尼崎総合医療センター 耳鼻咽喉科 市丸 和之

愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 三谷 壮平

* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は
利用しません。

* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、

以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

研究担当者 三谷 壮平

E-mail :

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明